

## 平成 26 年死亡災害発生状況（速報）

番号	発生日	業 種	事故の型	起 因 物	年代	職 種	発 生 状 況
1	1 月	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	崩壊・倒壊	木材・竹材	50 代	トラック運転者	荷主先で、ウイング車の片側を開け、荷台の上で荷物を積み込む段取りのため、積んできた養生用のベニヤ板を、閉まっている片側のウイングに立てかけていたところ、そのベニヤ板 9 枚が倒れ、被災者はそれに押し出され、荷台（高さ 1.3m）から墜落した。
2	1 月	清掃・と畜業 (産業廃棄物処理業)	激突され	解体用機械	50 代	重機運転者	焼却場敷地内において、車両系建設機械（解体用つかみ機）を用い産業廃棄物の選別中、廃材（約 400Kg）をつかみ上げた状態で、廃材に絡まっていた網を外していたところ、車両系建設機械のアームを作動させる油圧ホースが破損しアームが急降下し、廃材の真下で網を外していた被災者を直撃した。
3	3 月	畜産・水産業 (その他の水産業)	はさまれ・巻き込まれ	乗用車	70 代	重機運転者	鮎の漁場を整備するため、現場の河川敷に乗用車をエンジンかけた状態で停車し、被災者は運転席から降り車外に出ていたところ、乗用車が動き出しその車の下敷きとなった。
4	3 月	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	崩壊・倒壊	荷姿の物	40 代	トラック運転者	被災者は、角材を積んだトラックを運転し配送先に向かって県道を走行中、配送先の手前でトラックを路肩に停車し、積み荷の点検作業中に積み荷が崩れて、その下敷きとなった。
5	4 月	清掃・と畜業 (産業廃棄物処理業)	交通事故	トラック	50 代	トラック運転者	住宅解体工事のコンクリート廃材を積んだダンプで国道を走行中、下り坂カーブにて車両が横転し、道路わきの電柱に激突し運転席が押しつぶされた。
6	5 月	製造業 (自動車・同付属品製造業)	はさまれ・巻き込まれ	産業用ロボット	20 代	技能者	被災者は、製品に金属部材を溶接する機械の立ち上げ作業において、インターロック等の安全措置がない囲いの扉を開け、そこから身を乗り入れて作業していたところ、溶接箇所へ材料を供給する搬送機械が作動していて搬送機と制御盤に頭部を挟まれた。
7	5 月	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	その他	起因物なし	50 代	トラック運転者	業務中に急性心筋梗塞を発症し死亡したものについて、業務上災害と認定されたもの。
8	6 月	製造業 (印刷・製本業)	はさまれ・巻き込まれ	印刷用機械	30 代	印刷補助	印刷機に活性剤を注入する作業を行っている際に、何らかの理由により印刷機の内部に上半身を入れたためスライドするローラーと印刷機のフレームとの間に腹部を挟まれたもの。
9	6 月	その他の事業 (情報処理サービス業)	その他	起因物なし	30 代	システムエンジニア	急性心筋梗塞を発症し死亡したものについて、業務上災害と認定されたもの。
10	7 月	土木工事業 (その他の土木工事業)	交通事故	乗用車	30 代	主任技術者	被災者は、工事現場の進捗状況の確認作業を終え、事務所に戻ろうと国道を軽乗用車で走行中、トンネル出口付近からセンターラインをはみ出して、対向してきた大型トラックと正面衝突した。
11	7 月	土木工事業 (道路建設工事業)	崩壊・倒壊	地山・岩石	30 代	法面工	道路沿いの法面に吹き付けられた古いモルタルやその下の浮石等を撤去し、法面整形する作業において、休憩後作業を再開しようと道路上で登坂の準備中、法面上方で落石崩壊が発生し、被災者に当たった。
12	10 月	土木工事業 (道路建設工事業)	墜落・転落	地山・岩石	30 代	土工	道路沿いの法面に吹き付けられている劣化したモルタルを除去する作業において、親綱を設置するため、法面の上方に親綱を運び終え休憩のため、下へ降りようとして足を滑らせ斜面を滑り落ちそのまま道路に墜落（高さ約 17m）した。
13	10 月	製造業 (金属製品製造業)	飛来・落下	金属材料	60 代	鉄骨工	被災者は、5 段に積み上げられた H 形鋼のそばで、別の H 形鋼を移動させるための準備作業中、最上段の H 形鋼（H - 0.4m × 0.2m、長さ約 10m、重さ約 670 kg）1 本が 4 段目（高さ約 2 m）からバランスを崩して落下し、被災者を直撃した。

(平成 26 年 12 月末日現在 なお、昨年同時期 17 名)